

アイヌ政策推進交付金事業計画

1 事業名	根室市アイヌ政策推進事業
2 事業の種類	(文化振興事業) (地域・産業振興事業) (コミュニティ活動支援事業)の別
3 事業の目的	根室市ならではのアイヌ民族の証を次世代へ継承し、また情報発信し内外に伝えることにより、アイヌ文化と地域の振興を図ることを目的とする。
4 事業の概要	<p>(1)文化振興事業</p> <p>(2)地域・産業振興事業</p> <p>②根室半島チャシ跡等活用促進事業</p> <p>○事業実施主体 根室市教育委員会</p> <p>○事業の実施場所 根室市内チャシ跡(根室半島チャシ跡群)</p> <p>○事業の実施期間 令和5年4月～令和6年3月</p> <p>○事業の内容の考え方 根室市内にはチャシ跡等のアイヌ民族の遺跡が所在するが、民有地に所在するなど立地等から立ち入りが困難であったり、冬季はチャシ跡を見ることができないため、チャシ跡について三次元計測データを活用したCGの展示やアイヌ関係資料のデジタルデータをモデル化したインターネットで公開、パンフレットの作成などにより、アイヌ文化の普及啓発に努める。</p> <p>(3)コミュニティ活動支援事業</p>
5 アイヌ施策推進地域計画における記載	<p>4-1 アイヌ文化の保存または継承に関する事業</p> <p>4-2 アイヌの伝統等に関する理解の促進に資する事業</p> <p>4-3 観光の振興その他の産業の振興に資する事業</p> <p>②根室半島チャシ跡等活用促進事業 国指定史跡根室半島チャシ跡群のバーチャルリアリティによる展示や多言語音声案内化をし、市民・観光客へ情報発信し、また、国内外の観光客等にも対応した、アイヌ文化・歴史関連の観光プロモーション事業として実施する。</p>

	4-4 地域内もしくは地域間の交流又は国際交流の促進に資する事業
6 事業の成果目標等	
(1) 成果目標の達成に向けた工程	<p>(1)文化振興事業</p> <p>(2)地域・産業振興事業</p> <p>②根室半島チャシ跡等活用促進事業 アイヌ民族の残したチャシ跡やアイヌ文化資料を活用し、根室市の特徴あるアイヌ文化の普及につながり、根室市の観光入込客数の増加が見込まれる。</p> <p>(3)コミュニティ活動支援事業</p>
(2) 成果目標、(中間)目標年度(成果目標に対する現状値、及び成果目標の達成見込みについて記載すること)	<p>(1)文化振興事業</p> <p>(2)地域・産業振興事業</p> <p>②根室半島チャシ跡群活用促進事業 チャシ跡来訪者数 (現状値) 平成30年度 3,127人/年間 (中間目標)令和4年度 3,660人/年間 (最終目標)令和6年度 3,900人/年間 成果目標の達成は、令和6年度に達成見込みである。</p> <p>(3)コミュニティ活動支援事業</p>
(3) 成果目標の確認方法	<p>(1)文化振興事業</p> <p>(2)地域・産業振興事業</p> <p>②根室半島チャシ跡群活用促進事業 KPIであるチャシ跡来訪者数について実績値を公表する。また根室市観光協会などの外部機関と連携し、目標の達成状況等について検証を行い、改善点を踏まえて計画期間内の事業実施等に反映する。</p> <p>(3)コミュニティ活動支援事業</p>
7 地域の概要	
(1)地域における	根室市は北海道の東部に位置し、江戸時代には東蝦夷地の範囲に含ま

<p>アイヌ文化等の現状及び課題</p>	<p>れ、市内には多くのアイヌ語地名が残っている。アイヌ語地名の例として、自治体名になっている根室は「ニ・ムイ(木々が多き湾)」、本土最東端の地で、北方領土である歯舞(はぼまい)群島や国後(くなしり)島が望める納沙布(のさっぷ)岬が所在する納沙布は「ノツ・シャム(岬のそば)」、幕末期にコタンがあった穂香(ほにおい)と幌茂尻(ほろもしり)はそれぞれ「ポン・ニ・オイ(寄木多いところ)」、「ポロ・モシリ(大きい島・国)」などがあげられ、現在の行政区画名の多くでアイヌ語地名が由来となっている。</p> <p>16世紀頃からこの地域のアイヌ民族は、ラッコなどの毛皮を用いた特徴的な交易を和人との間で行っていた。江戸時代には動物毛皮やワシの羽などは「軽(かる)物(もの)」とよばれ、和人社会で珍重され、軽物の生産地として重要な地域となっていた。18世紀後半には、この地域のアイヌ民族は軽物を入手するため、千島列島で千島アイヌやロシア人と接触することもあったようで、広い範囲で交易を行っていたと考えられている。</p> <p>根室市内にはアイヌ民族が聖地、見張り場、砦などの用途として築いたチャシ跡が32か所現存しており、うち24か所は「根室半島チャシ跡群」として、文化財保護法に規定する「史跡」として、1983年(昭和58年)と、翌1984年(昭和59年)の二度に分け、当時の文部大臣より指定されている。</p> <p>根室半島チャシ跡群は大規模なチャシ跡が多くみられることが特徴で、海産物や軽物などの特産品による経済力を背景としたアイヌ社会が存在したことを示している。</p> <p>ところが、1789年に国後島、標津(しべつ)・羅臼(らうす)地方のアイヌ民族が、和人による支配に対し蜂起(ほうき)する事件が起きる。この事件はクナシリ・メナシの戦いとよばれ、アイヌ民族と和人双方に犠牲者が出た。同じ時期にロシア人が根室にたびたび来航するなど、重大な事件が相次いで起きたことから、和人による支配が進む中、アイヌ民族独自の生活が困難になり、アイヌ社会や文化の維持に大きな打撃を与えたとされる。また、明治初期から開拓使根室出張所が置かれるなど市街化が進んだことで、和人社会の関与が大きくなり、地域に固有なアイヌ文化の伝承が失われていったと考えられる。</p> <p>根室市では1983年5月に北海道アイヌ協会根室支部(2014年より根室アイヌ協会)が設立され、2020年1月現在31名の会員が所属している。現在、根室アイヌ協会が主催する「ノツカマツ・イチャルパ」は1974年から開催されている歴史のある慰霊祭で、クナシリ・メナシの戦いで犠牲となったアイヌ民族の先祖供養を行うものである。イチャルパでは和人側の犠牲者も弔い、長くアイヌ民族と和人が共にイチャルパを実施することで、この地域のアイヌ史理解に大きな役割を果たしてきている。</p> <p>このようななか、2006年に(公財)日本城郭協会が選定する「日本100名城」の一つに「根室半島チャシ跡群」が選定されたことにより、歴史観光ツアー等の来訪者が増加傾向にあり、2016年には地元の考古学研究者から貴重な</p>
----------------------	---

	<p>アイヌ関係資料が多数寄贈されたことなどから、当市における特徴的なアイヌ文化遺産の継承とさらなる活用に向け、資料の調査研究を行い、その成果の情報発信や、市民や観光客にもわかりやすい展示の充実など、アイヌ文化遺産の観光プロモーションへの対応が喫緊の課題となっている。</p>
(2) 施設等の管理運営体制	<p>根室市歴史と自然の資料館は、根室市教育委員会が管理運営している。</p>
(3) アイヌ関係団体及び地域住民の協力体制	<p>根室アイヌ協会とは随時双方向から円滑にコンタクトがとれる環境であり、協議事項がある場合においても円滑な関係が保たれている。</p> <p>また、地域住民については、根室半島チャシ跡群見学ツアーに対応しているボランティアガイド団体や、歴史研究サークル等と協調・協力した関係が保たれている。</p>

8 収支予算

(1) 収入の部

(単位:円)

区 分	本年度予算額 (本年度精算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比較増減	
			増	減
国庫補助金	4,701,000	21,673,000	0	△ 16,972,000
都道府県負担額	0	0	0	0
市町村負担額	1,176,300	5,418,900	0	△ 4,242,600
民間団体負担額	0	0	0	0
計	5,877,300	27,091,900	0	△ 21,214,600

(2) 支出の部

(単位:円)

経 費 区 分	本年度予算額 (本年度精算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比較増減	
			増	減
文化振興事業	0	0	0	0
地域・産業振興事業	5,877,300	27,091,900	0	△ 21,214,600
需用費	1,226,500	0	1,226,500	0
手数料	0	0	0	0
委託料	4,650,800	21,756,900	0	△ 17,106,100
工事請負費	0	3,905,000	0	△ 3,905,000
備品購入費	0	1,430,000	0	△ 1,430,000
コミュニティ活動支援事業	0	0	0	0
合 計	5,877,300	27,091,900	0	△ 21,214,600
需用費	1,226,500	0	1,226,500	0
手数料	0	0	0	0
委託料	4,650,800	21,756,900	0	△ 17,106,100
工事費	0	3,905,000	0	△ 3,905,000
備品購入費	0	1,430,000	0	△ 1,430,000